

加曾利かわらばん

第1回加曾利貝塚と新博物館をつなぐルート開発に関するワークショップを、令和4年10月29日(土)14時30分～16時30分@都賀コミュニティセンターにて実施しました。参加者23名による活発な意見交換がなされました。

01 当日のプログラム

開会挨拶を文化財課の蚊谷さんから頂きました。

今回ワーケーションの目的やルート案を事務局から説明すること。

01 グループに分かれた話し合いの内容

- ・見学ルートをワンスルーにすべき
- ・クイズラリーをしながら見学できることシステムを考える（子供向け）
- ・エレベーター以外に道路・階段もあると混雑時にスムーズに
- ・団体利用者が帰るとき史跡側からバスに乗れる配慮が必要
- ・環境配慮
- ・ホタルの生息地の谷津田をあまり触らないように
- ・橋両岸の水生生物を保護すべき

新博物館とエレベーターは一
ルート
する
展示物を見終わったらエレベー
ーの前に出るなどどうか
歩行距離が長すぎる 老人
供が回遊するには距離があり
博物館から史跡に行きたいと
ような橋が必要
バリアフリーを考慮してほしい

- ・ 小倉台駅からロープウェイやケーブルカーで博物館までのルートを作る
- ・ 動く歩道をたくさんつくりほしい
- ・ 長さ200mの太鼓橋が良い、真ん中にいたら史跡が見える
- ・ 市民の散策路との調和を考えた整備をしてほしい
- ・ 自然の景観を主かる

04 次回の「案内

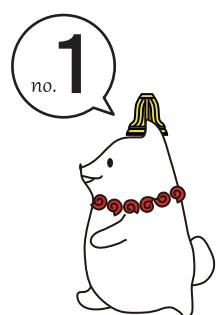
③魅力づくり・ルート上の工夫

- 園内に土器 動植物 掲示板
- 景色を見るためのベンチの設置
- 橋が小さくなると遊歩道が長くなり、移動の時にも退屈しない工夫が必要
- ホタルへの配慮

これらの意見を踏まえて、加曾利貝塚と新博物館をつなぐルートについて、引き続き検討していきます。 ◀

2022.10号

第1回 ワークショップの 結果報告



03 話し合いのまとめ

①ルート 景観を邪魔しない橋が良い
バリアフリーを考慮（雨天時の
安全性や浸水に対する対応を
含む）
高齢者や子どもが回遊するに
は歩行距離が長い
小規模橋梁案には賛成、しか
し移動の面に検討が必要

②見学ルート 見学ルートをワノスルーに
団体利用への対応が必要

③魅力づくり・ルート上の工夫
園内に土器、動植物、掲示板
景色を見るためのベンチの設置
橋が小さくなると遊歩道が長
くなり、移動の時にも退屈し
ない工夫が必要
ホタルへの配慮

これらの意見を踏まえて、
加曾利貝塚と新博物館をつ
なぐルートについて、引き続
き検討していきます。